

大津島データ 144世帯  
人口 195人 男 81人 女 114人  
高齢化率 80.0%  
(令和5年1月31日現在)

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

# 潮流



(刈尾地区)  
野上さんに頂いた、ミモザ



(本浦地区)  
蠟梅 (ろうばい)



(本浦地区)  
侘助 (わびすけ) ツバキの一種

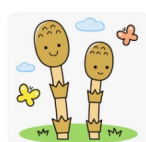


(大津島支所) ビオラ

## 寒い季節のガーデニング

寒さに強いビオラです。

支所にお寄りの際は、  
ぜひ見て下さい。



避難通路の  
確認が必要  
です。訓練を  
しておかな  
いと、いざ火  
事となった  
ら落ち着い  
て行動でき  
ないなと思  
いました。



## 島内での消防訓練

2月8日

文川大津島支所 原田 和保

(水)、島内で  
通報訓練及び  
消火訓練があ  
りました。  
当日は天候  
に恵まれ、動き  
やすかったと  
思います。  
今一度、消火  
器の使い方、通  
報時の声掛け、

## 若潮の会通信 No.49

思うがままに

文川佐々木 照彦

今年もよろしく  
お願いいたします。  
今年一番の寒さ  
の中、原稿を書いて  
います。外は真っ白  
です。これを乗り越  
えれば、山の幸や海の幸  
が目にも舌にも楽しませ  
てくれる季節がやってきます。2、3のメバル  
に3、4のカレイ。ツワもいいですねえ。花  
見・・・やりたいですね！



若潮の会もコロナ禍の中、制約を受けながら  
の活動が続きましたが、今年は一歩踏み出した  
活動ができるのではないのでしょうか。例年のコ  
ミュニティ補助の活動に加え、自主的なことも  
取り入れながら、わいわいが  
やがや、年齢を超えてやって  
いきたいと思います。わいわ  
いがやがやが基本線です。  
加えて、仲間を増やしてい  
きたい。若い島出身者、関係  
者の皆様にも趣旨に賛同い  
ただいて、気軽に参加して欲  
しいと思います。そのような  
情報があればぜひともお寄  
せください。  
今年こそ、島に少しでも賑  
わいが戻るように・・・



メバルの煮付

ツワの煮物

令和3年に、開館50周年を  
迎えた回天記念館の記念誌を  
発行しましたが、その編集に  
あたっては、大津島の四季  
折々の自然の画像を多く使用  
することになりました。  
そこで、雪に彩られた景色  
を加えようと前年の冬、雪が  
積もる日を待っていました  
が、雪は降るけど一面銀世界  
となる日は来ませんでした。  
そのため、市街地からの通  
勤族の間では、「大津島はあま  
り雪が積もらないね」とよく  
話していましたが、皆さんは  
どう思われていますか。  
その原因は、大津島は年間  
を通しての温度変化が陸地よ  
りも少ない海に囲まれている  
から、冬場は陸地より気温が  
高いためと推測したのです  
が、それを証明するデータが  
手元にはありません。  
そこで県内のアメダス観測  
所のうち、島とその近辺の陸  
地側にも設置してあるものが  
ないかと調べたら、島の大き

徳山湾  
見聞録

37

雪はあまり積もらないと思うのですが

文川大津島巡航 三崎 英和

さは随分違います。周防大  
島の安下庄と柳井市内にある  
観測所の例があったので、そ  
の数値を比較してみました。  
すると、やはり安下庄の方  
が1度程度、冬場の気温は高  
くなっていました。観測所  
が設置されている地形等によ  
り、その値は随分変わるの  
で、実際はどうなのかは定か  
ではありません。それと、積雪量  
に関しては風の強さも影響す  
ることでしょう。  
いずれにしても、雪が積も  
れば子供たちは大喜びです  
が、大人にとっては厄介なも  
の。雪は降れども、積もらな  
いことに越したことはないで  
すよね。



イラスト 三崎さん

「出前トーク」が  
行われました。

2月13日(月)、大津島支  
所にて生活安全課の消費者  
センター田原さんが訪問販  
売、消費者トラブル等につ  
いて講話され、民生委員児童  
委員の皆様が出席されました。  
特に話の中で大事に感じ  
た事は、断る際に「いいです」  
ではなく「いいらない」とは  
きり言う事。もし電話がか  
かってきて不安に思ったら、知  
らない電話に出ない。留守電  
にしておくが良い。何か不安  
に思ったら、消費者センタ  
ー、警察署へ連絡して下さい  
との事です。私も騙されやす  
いので、気を付けようと思  
いました。



文二大津島支所 原田 和保



## ⑧ 思いいへまじ、春の足音。

みなさん、こんにちは。この原稿を書いている時は、1月の中旬です。まだまだ寒い日が続いています。おまけに月末には記録的な寒波がやってくるという天気予報も出ています。

ところで「記録的」とは、どういう意味なのかと調べてみると、従来の記録に並び、また、それを上回るほど程度が甚だしい事を言うようです。という事は、今まで私たちが経験したことのないような寒波がやってくるようです。大雪や路面凍結によるスリップ事故、転倒事故に注意するとともに水道管の凍結防止の準備も行っておかなければいけないと考えているところです。

しかしながら通勤途中に見かける風景は、少しずつ春の訪れを告げています。道端に咲く水仙、菜の花が春の近いことを告げています。毎年思うのですが大津島は春が早いなーという事です。

ホーホケキョ



余り見なくなってきました。どこかへ移動していったのかも？波止場でたくさんのカモメやウミウたちが並んで留まって船を出迎えてくれる光景が懐かしくさみしくもあります。

歩く道中では数の中にウグイスを見つれることがあります。まだ「ホーホケキョ」の鳴き声は聞こえないのですが、これから暖かくなれば「ホーホケキョ」の鳴き声が林の中から聞こえてくるのですが、まだ先のようです。

ジョウビタキという可愛い小鳥が歩く前や側の林を行ったり来たりするのを見ながら、坂をのぼって行くのですが、渡り鳥なのでもうすぐ見られなくなってしまうます。もうすぐツバメも来て、桜も咲き始めるんだなーと考えながら歩いています。早く春よ、来てー。と思います。

文川回天記念館 佐伯 孝洋

※馬島漁港の浮桟橋改修工事のため大津島巡航船の船便の一部が馬島港に寄港しません。詳しくは回覧等をご覧ください。（令和5年3月1日～令和5年5月31日まで）

### ◆ 大津島さくら祭及び須金・大津島地区交流会の開催中止について

「大津島さくら祭」及び「須金・大津島地区交流会」は、新型コロナウイルスの影響により、中止させて頂くこととなりました。

## お知らせ

【次回潮流発行予定日】  
5月1日 第291号

移動図書館 やまびこ号ジュニア  
3月11日（土）、4月21日（金）  
馬島11：30～ 刈尾12：20～

大津島地区社会福祉協議会からのお願い  
善意銀行への寄付にご協力ください

【編集後記】  
1月に入ってから、寒さが一段と厳しくなりました。私が大津島に来て、雪があちこち積もっている光景は、初めてだったと思います。島の皆さんは、水道管のトラブルで困られ、「しまさば」の出動も多く大変だったと思います。潮流を配布する頃には、暖かい春を感じさせてくれると思います。  
文責：大津島支所 原田 和保

## 知っちゃんかな

### やいとお



文川松本 千恵子

子供の頃、法事などで人が集まる時、日頃と違う雰囲気にはしゃぎ回るのは子供の常で、料理を作ったり、座布団を並べたりする大人の間を走り回る。最初こそ笑いながら「おとなしゅうせちよかんにゃあ」と声を掛けるも一向に止まない子供らに、日頃口数の少ないジーさんが「おとなしゅうせんにゃあ、やいとおすえるでよ」と一喝。その言葉に子供達、一瞬にして動きが止まる。年高の子供達はしおしおと隅に行き、小さい子供達はキョトンとしながらも、大きな子達に倣って隅にいたまる。

やいとお、お灸の事だ。こうした時、大人達のかんの虫を抑えるとされていたツボに灸をすえて、見せしめとしたきらいがある。ある時私は大人2人に押さえつけられて、灸をすえられた男の子を見た事がある。「やらんけん、はあやらんけん」と言いながら泣く子の拳固の小指だったか、人差し指だったかの曲げた第一関節の上に百草（もぐさ）を置いて火をつけた途端、ギャーと言いた男の子。大人になって考えると、その百草は凄く小さくてじきに燃え尽きてしまったのだけれど、子供に取っては大人2人に押さえ付けられて、しかも火を付けられる恐怖は鮮明に残り、やいとおと言われた途端すくみ上がるくらい効果覿面（てきめん）だった。大人達もそこは心得たもので、最終手段としてのやいとおを繰り出してきたものだ。今なら虐待だと大事になりそうな話だ。

これはこれで昔話になりつつあるけど、お灸としての本道の話も沢山ある。私の叔父は若い頃酷い喘息で、発作が出ると布団で横になって寝ることも出来なかったそう。で、畳んだ布団にもたれて寝ていたそう。子供心にも布団にもたれて苦しうにいてる姿を何度も見ていた。そんなある日、百草売りの人が島に来て、喘息の灸の※ツボを下ろしてくれだと言った。「このツボをひと月位、毎日灸をすえてあげるように」と言って、その間に使う百草を売って帰っていったそう。ツボを下ろした分の代金は受け取らなかったそうで、祖母などは「あれである人は儲けになるんじゃないか」と度々口にしていた。叔父の喘息が治ってから尚の事。昔はこうした商売があって、私の母も背中にヨウと呼ぶ悪性の腫れ物が出来て伏せていた時に巡ってきた百草売りの人から、手当ての仕方を教えて貰って命拾いしたと話していた。

その時など、ヨウの周りに味噌で堤を築きその中に食油を注ぐというものだったそう。その内ヨウからわくわくと膿が湧き出て、楽になるのが分かる程だったと言う。後年母の背中にはまだその時の傷痕が残っていて、「背中の真ん中にヨウが出来ていて、このままだとこの子は死ぬると百草売りさあが言っただ」とひとつ話にしていた。その時も多分百草代しか受け取らなかったような話だった。昔の人の背中や腰、足などには灸の痕が残っていたと思うが、今は余り見ないと思う。知る人も少なくなった百草売りと灸の話。

※場所を決める

## ひろしのつぶやき

異次元の少子化に対する政策と報道を聞くと、異次元とは、どんな事が解らず「広辞苑」の助けを借りると異次元とは、普通では考へられぬ異なった考え方と書いて居る。その策を実行しようとする大臣。すばらしさを是非、此の大津島に適用して欲しい。人工頭脳や医療科学の進歩した現在思い当るのは、優秀な人工ロボットを量産して福祉施設など人手不足な所に役立てる？人口を増やす方法には、人工「クローン」を量産する事か？



異次元の策ならば難民の受入だ。留学生や日本を好んで来た移民を環境待遇を良くして快適な生活を望むこの策は、異次元では無い。異次元ならば少子化の此の現象は時の成り行きと認め、世界には80億人の人が住んで居る。まだ増へて行きそう。此れ以上多くなると地球の資源では生きる事が出来なく成るとの事。

少子化現象は地球を守る最良策かも。中国も韓国も少子化は進んで居る。少子化の原因は母性の高学歴とも聞くと男性の育児に対する接す時間の少なさも聞く。異次元の策とは、後30年もすれば高齢者も少なくなり、均等な人口割合となり、科学の進歩した平和な快適な世代が来るだらう。其の頃の大津島は、荒廃した無人孤島と成り果て尋る者も無く、猪は健在かと・・・つぶやく。（原文のまま）

文川屋野 廣志